

駒ヶ根民報

No.1359

2016.04.17

日本共産党

駒ヶ根市委員会

Tel 83-2969

参議院選挙に統一候補を

野党共闘の勝利で、市民とスクラムを組んで

野党共闘は国民多数の声

安保法制の強行採決という暴挙以降、国民の声がちゃんと届く政治にしたい。という思いが、野党共闘を後押ししました。

日本共産党は、それに答えて、党のプライドや利益よりも、安保関連法案の廃止と、集団的自衛権行使を認めた閣議決定の撤回、国政選挙で現与党とこの補完勢力を少数に追い込み、安倍政権の打倒をめざすために、国会対応や国政選挙のあらゆる場面で協力しよう。

この呼びかけが、民主共産、維新、社民、生活の5党の結束という共同に繋がりました。



《杉尾氏が党に託したメッセージを紹介》

参議院選挙区の統一候補として 杉尾秀哉氏の 当選を目指します。

杉尾秀哉でございます。

私は35年間、テレビ報道の最前線に立って来ました。この間、日本の政治を外からつぶさに見てきましたが、今ほど強い危機感を感じることはありません。

問答無用の安保法制の強行、相変わらずのバラマキ・将来世代への先送りの財政、空虚なスローガン政治と、納得のできないことが相次いでいます。

私は今こそ傍観者ではられない。報道マンとして政治を伝える立場から、人々に伝わる政治を実践しようと、強い決意をもって国政にチャレンジすることを決断しました。

駒ヶ根駅前広場整備計画

駒ヶ根市の玄関口としての魅力ある空間づくりを目指して

市では都市機能の一つである駒ヶ根駅前広場について交通結節点機能を強化し、再構築することとして整備方針案を示しています。

駅前広場の現状

駒ヶ根駅前広場の主な交通手段の72.6%が自動車での乗り入れであり、2位の徒歩12.9%以下を大きく引き離しています。

駒ヶ根駅前広場の課題

車での利用のしやすさに対する不満とする人が4割にも上りました。再整備に重視すべき事項

実態調査状況から

一般車の送迎スペースが無く、事業者と一般車が混在、歩行者がロータリー内を横断し、交通事故の危険が高い。朝夕の電車の到着にあわせた迎えの一般車が迎えに集中しロータリー内や周辺に滞留する。

商店街の方々の中には

一方で、整備方針案では、駅から市街地に向かう横断がかえって交通弱者には危険だという声や、市街地へのアクセスが悪くなる、広場の活用が後退するこの声も聞かれます。

ます。

はる爛漫…

近年温暖化の影響か？桜の開花に合わせたように、水仙や花桃・レンギョウにチューリップ・ミツバツツジ・岩山ツツジ等。が一斉に咲き誇りました。中央アルプスを背景に、色鮮やかな警沢な光景でした。

しかし短期間に集中したため、日々の生活の中でもっとゆとり時間を掛けて楽しみたい…と感じたのは、私だけでしょうか。



憲法制定70周年 憲法記念日の集い」講演会

「今、日本国憲法を考える」

憲法の番人 元最高裁判事

那須弘平さんが語る

日時 5月3日(火)憲法記念日

場所 長野県伊那文化会館

・大ホール

主催 憲法記念日の集い実行委員会

